

平成13年度

**第10回情報教育推進のための
理事長・学長等会議
開 催 要 項**

日 時：平成13年8月4日(土)
13:00～18:30

会 場：工学院大学新宿校舎
東京都新宿区西新宿1-24-2
TEL: 03 - 3342 - 1211(代表)

社団法人 私立大学情報教育協会

テ ー マ

「高等教育の質的向上とネットワークによる 大学教育コンソ - シアム」

開催趣旨

大学審議会答申で指摘されるように、21世紀は、全ての人々が情報を共有し、競争関係をつくりながらアイデンティティを構築・尊重するという、共生の社会を目指していくことが想定される。

グローバル化時代における大学教育は、国内外の人々と協力・共生し、地球的な規模で情報通信技術を不断に活用できるようにすることが重要である。学問は、知識の源泉であり、知識は共有化されるべきものである。国境を越え、言語を越え、民族などあらゆる障害を越えて知識を共有できるような環境が大学に必要となる。

大学が知的資源の創造に貢献していくには、教育の高度化、オープン化を図ることが基本となる。大学が提供する教育プログラムが限りなく高い水準となるよう、国内外の大学とネットワークを介して連携し、グローバル化に対応した教育システムの構築を目指して、教育内容の見直し、情報技術の活用に関する研究が要請されている。

米国のマサチューセッツ工科大学では、教育改革を促進し、世界の大学との交流に役立てるとして、2年間で実験プログラムを開始し、10年間で2千以上の全ての講義をインターネットで無料公開する新たな試みを発表した。米国の大学の多くは、学生に限りなく「学習し易い」環境を提供するため、専門的スタッフを置き、情報技術の環境整備に万全を期しており、教員も授業内容の高度化を目指して、授業方法の工夫、学生とのコミュニケーションに惜しみない努力を続けている。

日本の大学は、やっと施設設備を整備しつつあるが、問題は教員の授業に対する熱意とそれを支援する大学の体制が大きな課題である。収入減が予測される今後、教育条件の整備は二律背反的で困難が予想されるが、大学それぞれがアイデンティティを尊重し合い、ネットワークの上で共に支え合う環境を構築し、経験を積み重ねていけば、多くの課題を乗り越えることができるものと確信する。

そのようなことから、本協会は、昨年度の理事長・学長等会議で情報技術を活用して教育の質を高めるために、コンテンツを提供し合うことを決議した。本年度はその決議を実現するべく、ネットワーク上にサイバ - キャンパス・コンソ - シアム(CCC)を構築し、一大学ではなし得ない教育改善を推進するための構想・課題について意見交換を行い、14年度の本格実施に向け、大学としての戦略的な教育政策を考究する場としたい。

プログラム

< 1:00 > 会長挨拶
会場校挨拶

戸 高 敏 之 氏 (私立大学情報教育協会会長)
大 橋 秀 雄 氏 (工学院大学学長)

< 1:15 > 基調講演

「高等教育の質的向上と多元的評価の導入」

情報通信技術により高等教育のグローバル化が進展するに伴い、大学の教育は国内外への通用性・共通性と他大学との競争力が求められてくる。情報通信技術を活用することは教育効果を高める上で有意義であるが、教育の質的向上を促進していくには教育内容が社会からも国際的にも適切であることが求められる。第三者による教育評価の導入が必然となることを J A B E E (日本技術者教育認定機構) を例に紹介いただく。

講師：大 橋 秀 雄 氏 (工学院大学学長：日本技術者教育認定機構副会長)

< 1:45 > 基調報告

「日米大学マルチメディア教育セミナーの報告」

ハ - パ - ド大学、スタンフォ - ド大学、マサチュ - セッツ工科大学、カリフォルニア大学バ - クレイ校、カ - ネギーメロン大学、ロヨラ大学、フロリダ大学、アーバン大学のセミナー - で得た授業でのマルチメディアの活用と支援環境、大学としてのポリシ - などについて報告し、日本の私立大学が取り組むべき課題を整理する。

総 論

白 井 克 彦 氏 (セミナー - 団長：早稲田大学副総長)

井 端 正 臣 氏 (私立大学情報教育協会事務局長)

経済・経営・会計系

小 澤 太 郎 氏 (慶應義塾大学総合政策学部助教授)

物理・機械・建築・経営工学系

田 辺 誠 氏 (神奈川工科大学工学部教授)

薬学系

山 岡 由美子 氏 (神戸学院大学学長補佐)

< 3:00 > 休 憩

< 3:30 > 関連情報提供 1

「大学間教育研究情報交流システムとデ - タベ - スモデル」

教育活動にかかわる情報をデ - タベ - ス化し、大学間でインタ - ネットを介して情報収集が可能な本協会の情報交流システムの構想について紹介する。

説明：私立大学情報教育協会事務局

< 3:50 > 全体討議

「サイバ - ・キャンパス・コンソ - シアムの発足に向けて」

サイバ - ・キャンパス・コンソ - シアムの構想と大学、私情協、賛助会員の役割、今後の運営方針等についてスキ - ムを提示し、コンソ - シアムに入ることのメリットと義務、事業の内容等について全体討議を行い、大学が参加し易いコンソ - シアムの在り方を討議する。

座長：白 井 克 彦 氏 (私立大学情報教育協会副会長：早稲田大学副総長)

< 4:30 > 関連情報提供 2

「情報化投資額の実態と補助金の活用」

説明：私立大学情報教育協会事務局

< 5:00 > 会場移動

< 5:15 > 懇親会

< 6:30 > 閉 会

■ 参加対象

理事長、学長、理事、副学長（学長補佐）、学部長、教務部長（教員限定）、短期大学の学科長、ご本人とします。なお、ご本人以外に随員は2名まで参加できますが、ご本人が出席されない代理者のみの参加は対象としません。

■ 参加費

1名 10,500円

■ 申込方法

別紙申込用紙にて法人又は大学単位で一括して7月25日までに郵送又はFAXして下さい。なお、参加費は法人又は大学単位でまとめ、下記宛に7月31日までに振り込み下さい。

<振込先> あさひ銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409

名義人 （社）私情協

■ 会場への交通

JR中央線、山手線、総武線「新宿」駅下車、徒歩5分程度です。
地図を参照下さい。

■ 送付先・問い合わせ先

社団法人 私立大学情報教育協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 No.1山崎ビル4階

TEL : 03 - 3261 - 2798 FAX : 03 - 3261 - 5473

社団法人 私立大学情報教育協会
第10回情報教育推進のための理事長・学長等会議
申 込 用 紙

大学・短期大学名 _____ 【申込担当部署】 _____

連絡先 〒 _____ 【申込連絡者名】 _____

TEL. _____ FAX. _____

法人名、大学、 短期大学名	(フリガナ) 氏 名	役職名・所属学部(科)・身分
参加費 10,500円 × _____ 名 総計 _____ 円		

参加調整をお願いする場合には申込連絡者の方にご連絡します。
申込はFAX(03-3261-5473)でも結構です。